

# 令和7年 台風第15号に 関する台風説明会

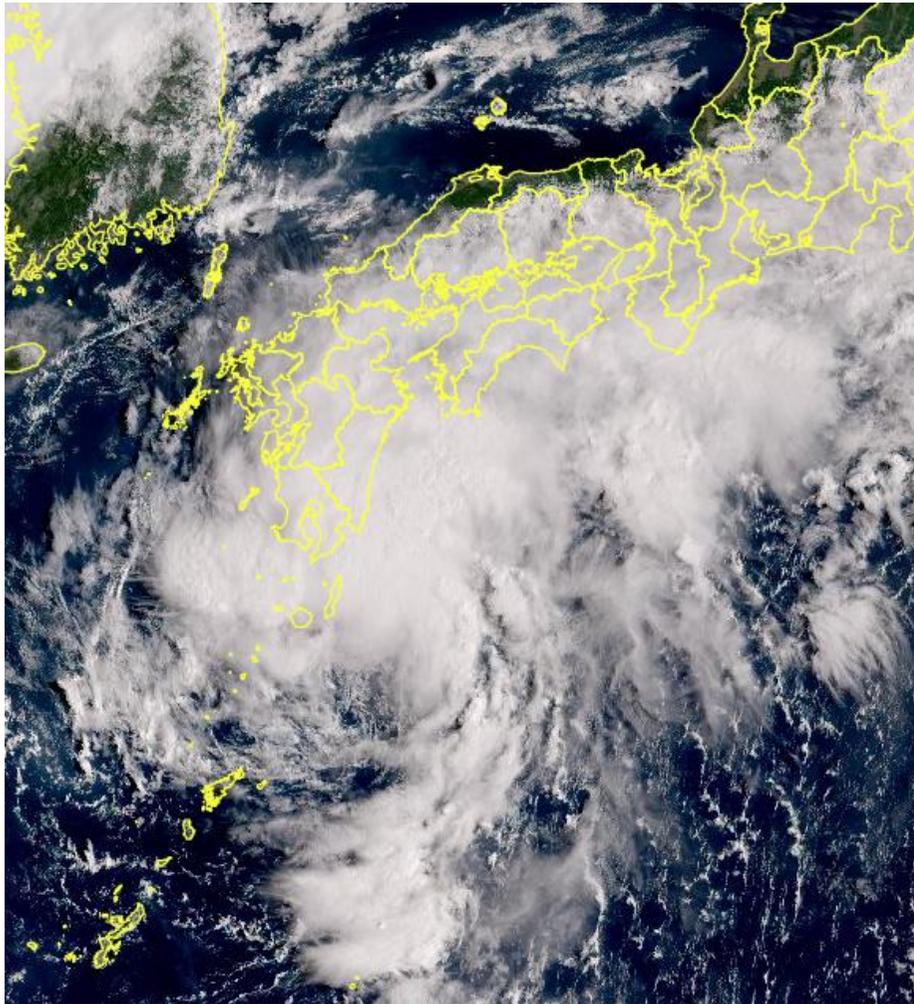
令和7年9月4日11時

神戸地方気象台

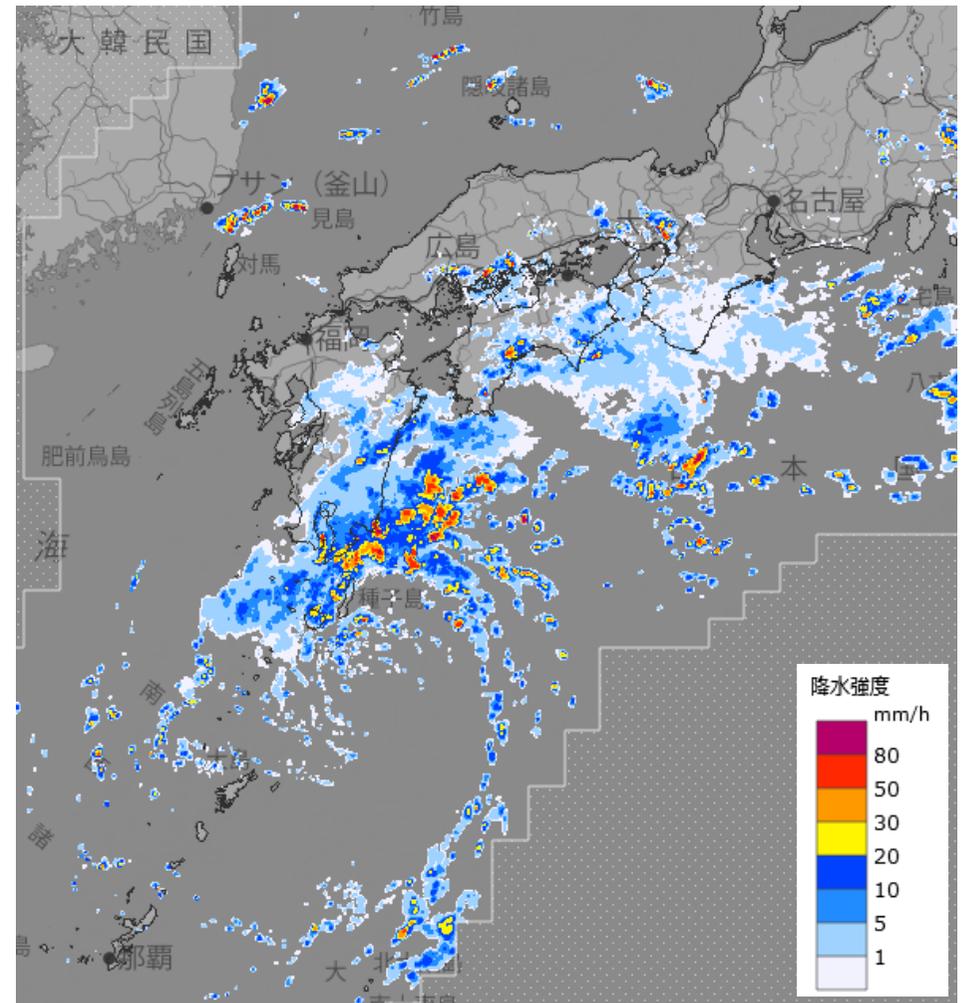
※本資料は現時点の見通しを示したものですので、今後気象台の発表する最新の台風情報や警報・注意報、気象情報等に留意してください。

- 現在の予報円の中心を通った場合、**台風第15号は、兵庫県には5日昼前に最接近する見込みです**（4日09時予想）。
- 台風が接近する前から、台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込むため、兵庫県では大気の状態が非常に不安定となり、局地的に雨雲が発達するでしょう。
- **南部では4日夕方から5日夕方にかけて、北部では5日朝から夕方にかけて、警報級の大雨となる可能性があります。**低い土地の浸水、河川の増水、土砂災害に十分注意してください。
- 兵庫県では、強風やうねりを伴った高波、高潮、竜巻などの激しい突風や落雷にも注意してください。
- 「令和7年 台風第15号に関する兵庫県気象情報」を発表中です。次回は、4日17時頃に発表する予定です。

※ 本資料は現時点の見通しを示したものですので、今後、気象台の発表する最新の台風情報、警報や注意報、気象情報等に留意してください。



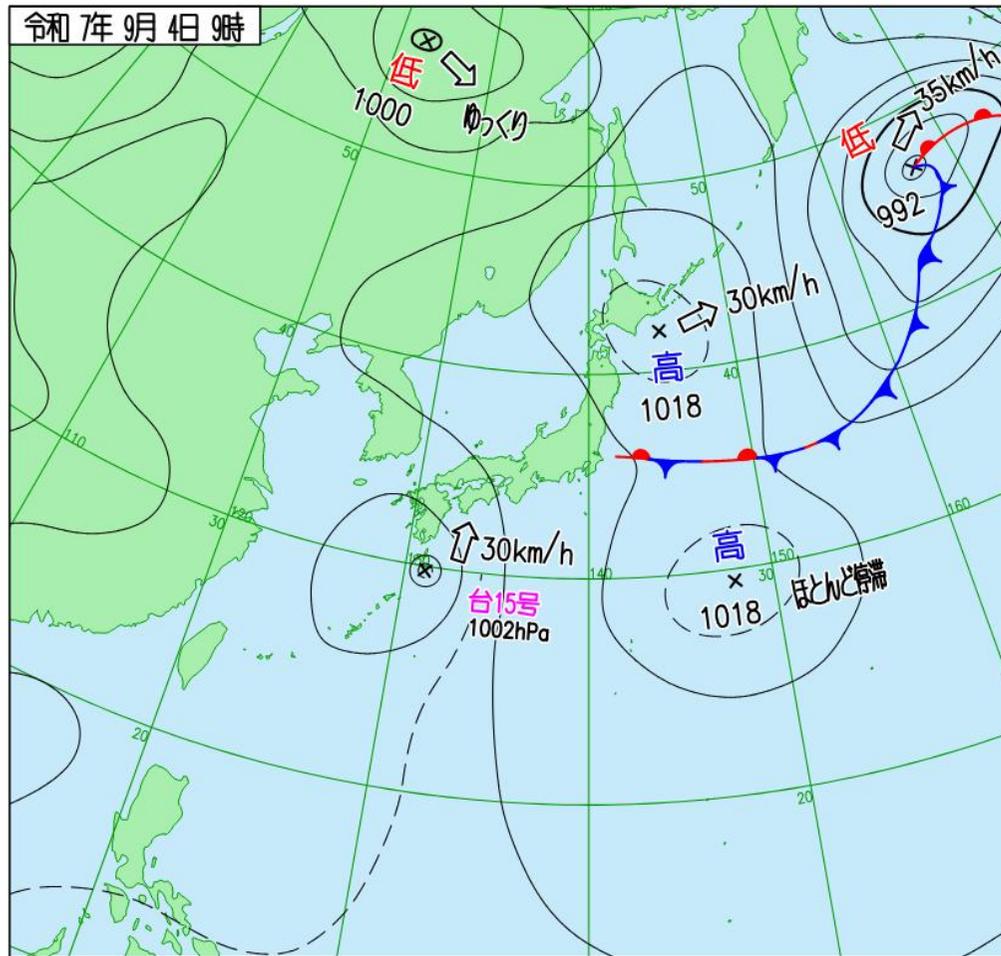
4日09時の衛星画像



4日09時の雨雲の実況

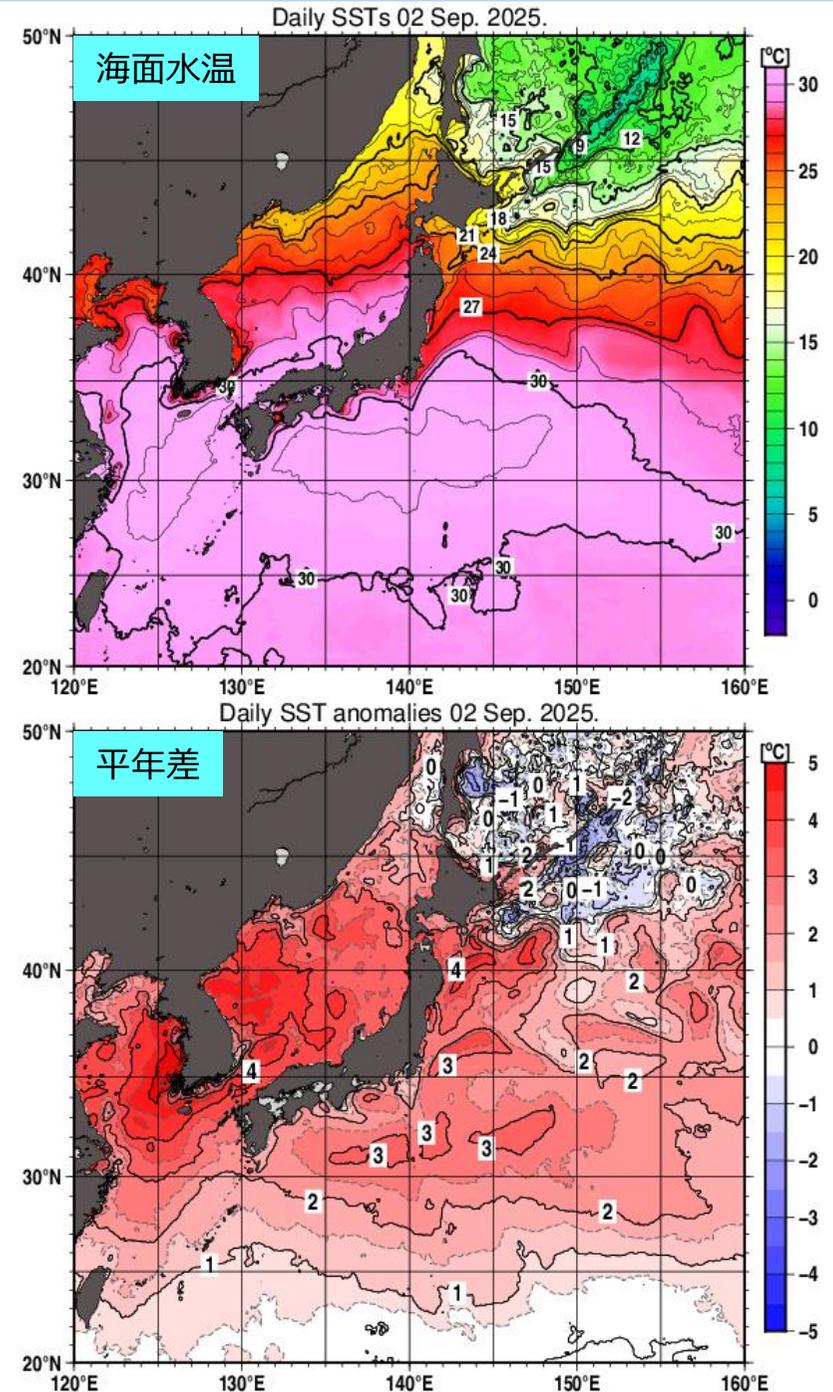
4日09時の観測によると、台風第15号は種子島の南約90キロにあって、1時間におよそ30キロの速さで北へ進んでいます。  
中心の気圧は1002ヘクトパスカル  
中心付近の最大風速は18メートル、最大瞬間風速は25メートルとなっています。

# 地上天気図と日本近海海域の海面水温



4日09時の地上天気図

台風第15号の進路上の海面水温は、30℃以上と高いため、台風が勢力を維持する要因となっています。



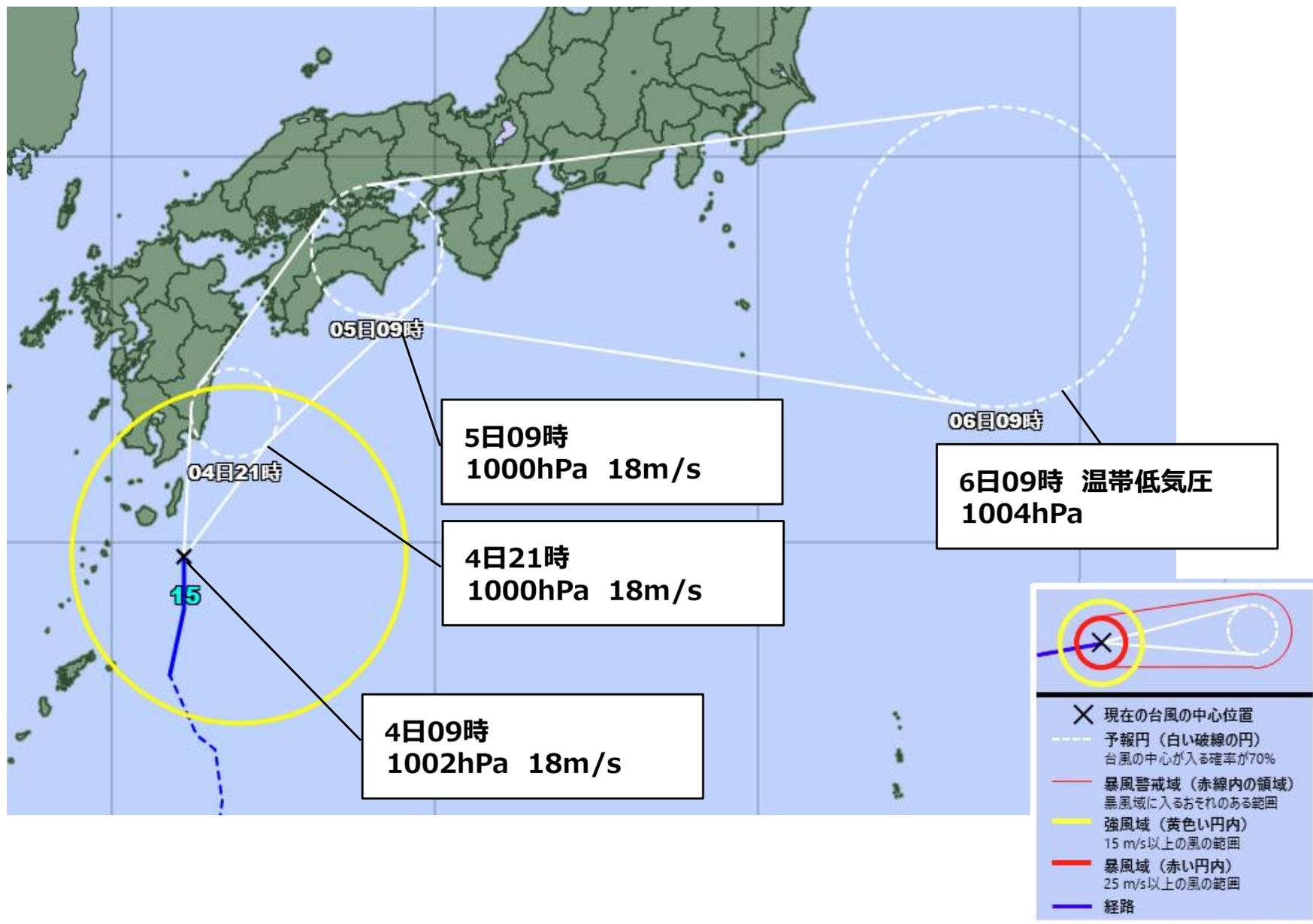
2日の日本近海海域の海面水温

## 進路予想図 (4日09時現在の予想)

【表示内容】 (表現がない項目は省略)

日時

中心気圧 中心付近の最大風速



# 台風第15号の進路予想と兵庫県への影響

神戸地方気象台  
令和7年9月4日11時現在

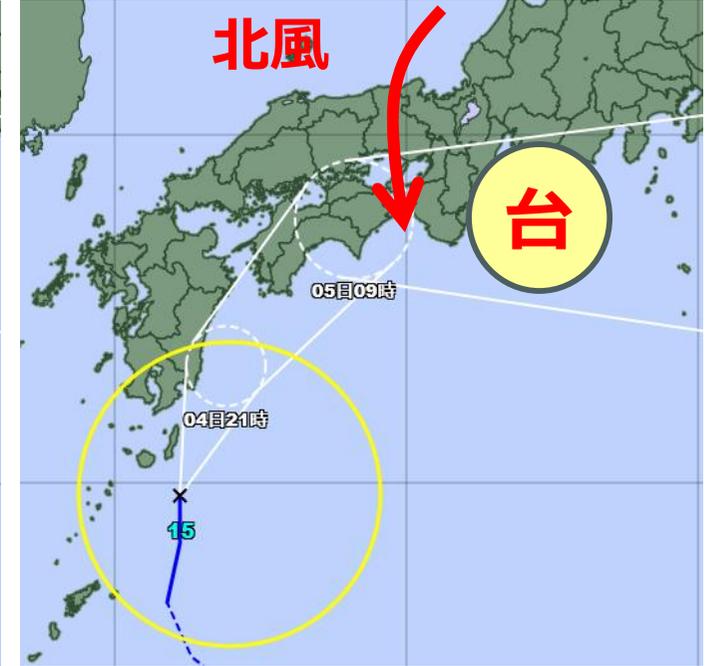
## 台風接近前



## 台風接近時



## 台風通過後



- 台風周辺の降水域がかかる
- 特に紀伊水道から台風に向かう暖かく湿った空気が流れ込むため、南部中心に雨量が多くなる見込み

- 台風本体や北側の降水域がかかる所では雨量が多くなる

- 北風が継続すれば、北部を中心に雨量が多くなるおそれ

## 4日11時発表の早期注意情報（警報級の可能性）

		4日12時 ~4日18時	4日18時 ~5日06時	5日06時 ~5日24時	6日
大雨	北部	—	—	中	—
	南部	中	中	中	—
暴風	北部	—	—	—	—
	南部	—	—	—	—
波浪	北部	—	—	—	—
	南部	—	—	—	—
高潮	北部	—	—	—	—
	南部	—	—	—	—

注： 今後の予想次第で早期注意情報も変更される可能性があります

### ◎ 兵庫県における暴風域、強風域、最接近のおおまかな時間 (4日09時現在の予想で、予報円の中心を通った場合)

4日09時	強風域入	暴風域入	暴風域出	強風域出	最接近
北部	5日明け方	—	—	5日昼過ぎ	5日昼前
南部	5日未明	—	—	5日夕方	5日昼前

# 台風第15号による気象の見通し

		4日				5日								
		12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	
		昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	
台風最接近									最接近					
大雨・洪水 (ミリ)	北部	20	20	20	20	★ 20	20	30	30	30	20	1	1	
	南部	20	40	40	40	40	40	40	40	40	20	1	1	
雷	北部		竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻			
	南部		竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻			
強風 (メートル)	北部	陸上	5 ↑	8 ↑	8 ↑	8 ↑	10 ↗	10 ↗	10 ↗	10 ↗	10 ↓	10 ↓	8 ↓	8 ↓
		海上	8 ↗	10 ↗	10 ↗	10 ↗	15 ↗	15 ↗	15 ↗	15 ↗	15 ↓	15 ↓	10 ↓	10 ↓
	南部	陸上	8 ↗	12 ↗	12 ↗	12 ↗	12 ↗	13 ↗	13 ↗	13 ↗	13 ↓	12 ↓	10 ↓	10 ↓
		海上	10 ↗	15 ↗	15 ↗	15 ↗	15 ↗	18 ↗	18 ↗	18 ↗	18 ↓	15 ↓	12 ↓	12 ↓
波浪 (メートル)	北部	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2	2	2	2	2	1.5	1.5	
	南部	淡路島南部を除く	1	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2	2	2	1.5	1	1
		淡路島南部	1	1.5	1.5	2うねり	2.5うねり	2.5うねり	2.5うねり	2.5うねり	2.5うねり	2.5うねり	2うねり	2うねり
高潮 (メートル)	北部	0.7	★ 0.5	0.4	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.5	0.4	0.5	
	南部	大阪湾	0.4	0.7	0.7	0.8	0.9	0.7	0.4	0	0.3	0.7	0.7	0.5
		播磨灘	0	0.4	1.2	1.2	1.1	0.7	0.4	0.3	0	0.3	0.8	0.9
		紀伊水道	0.5	0.7	0.8	0.7	0.8	0.7	0.3	-0.1	0.3	0.7	0.7	0.5

警報級   
  注意報級   
  警報発表の可能性がある時間帯   
  注意報発表の可能性がある時間帯  
 ※大雨・洪水の数値は1時間降水量   
 ★ 警報を発表するおおよそのタイミング   
 ☆ 注意報を発表するおおよそのタイミング

24時間降水量予想 (多い所)	北部 (ミリ)	南部 (ミリ)
4日12時～5日12時	80	150
5日12時～6日12時	60	80

風の見通し		北部 (m/s)		南部 (m/s)	
		陸上	海上	陸上	海上
4日	最大風速	8	10	12	15
	最大瞬間風速	15	20	25	25
5日	最大風速	10	15	13	18
	最大瞬間風速	20	25	25	25

・大雨や洪水の注意報や警報は、状況により随時発表します。  
・量的な予想は最新の警報・注意報・気象情報を利用してください。

## 関係機関の皆さまへのお願い

気象台では、住民の皆さまに以下の呼びかけを行ないますので、ご協力をお願いします。

# 台風の接近に備えて

- ◆ 気象台が発表する最新の台風情報や警報・注意報、気象情報、キキクル（危険度分布）を確認し、市町からの避難に関する情報等に留意してください。
- ◆ 大雨による土砂災害・洪水・低い土地の浸水をはじめ、暴風、高波、高潮など、自分のいる場所ではどのような災害が起こりやすいのかを予め確認し、明るいうちに安全な場所に移動するなど、雨や風が強まる前に早め早めの安全確保をお願いします。
- ◆ 屋外での作業や不要な外出は控え、海岸や増水した河川・用水路など危険な場所には絶対に近づかないようお願いします。
- ◆ 大雨や暴風が長時間続くと、災害の危険度がさらに高まり、影響が長時間続くことに留意してください。
- ◆ 今後の台風の進み方によっては状況が変わってきますので、常に最新の情報を利用してください。

# 【今後の予想を含めた最新の気象情報は、以下からご利用ください。】

## ○ 兵庫県の気象警報・注意報、土砂災害警戒情報

(大雨、洪水、暴風、波浪、高潮、大雪などによる、災害のおそれを警戒・注意を呼びかける)

[https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area\\_type=offices&area\\_code=280000&lang=ja](https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area_type=offices&area_code=280000&lang=ja)

## ○ 兵庫県のキキクル(危険度分布) (どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まるとどうされるか地図上で表示)

土砂キキクル (危険度分布)

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#zoom:9/lat:34.936608/lon:134.928589/colordepth:deep/elements:hazardmap&land>

浸水キキクル (危険度分布)

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#zoom:9/lat:34.936608/lon:134.928589/colordepth:deep/elements:hazardmap&inund>

洪水キキクル (危険度分布)

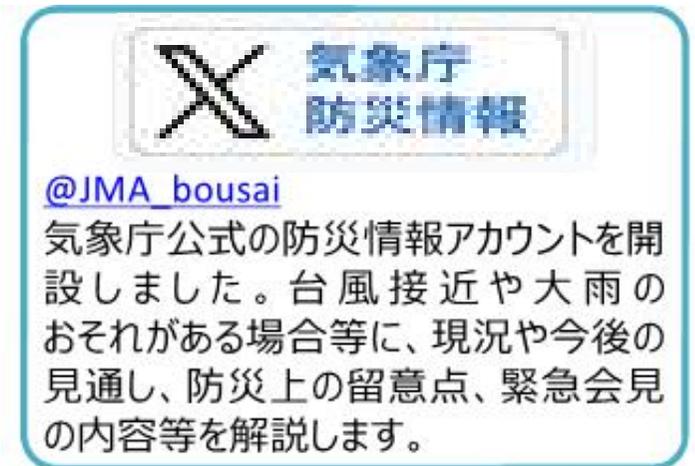
<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#zoom:9/lat:34.936608/lon:134.928589/colordepth:deep/elements:hazardmap&flood>

## ○ 台風情報 (台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し)

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>

## ○ 兵庫県の指定河川洪水予報 (国や県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測)

[https://www.jma.go.jp/bosai/flood/#area\\_type=offices&area\\_code=280000](https://www.jma.go.jp/bosai/flood/#area_type=offices&area_code=280000)



# 【今後の予想を含めた最新の気象情報は、以下からご利用ください。】

## ○ 最新の気象データ

雨雲の動き（降水・雷・竜巻ナウキャスト） <https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>  
今後の雨（降水短時間予報） <https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>  
気象衛星ひまわりの画像（雲の動き）  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari>

兵庫県の最新の降水量観測データ（アメダス観測値）

[https://www.data.jma.go.jp/stats/data/mdrr/pre\\_rct/alltable/pre24h0828.html#a63](https://www.data.jma.go.jp/stats/data/mdrr/pre_rct/alltable/pre24h0828.html#a63)

兵庫県の最新の最大風速観測データ（アメダス観測値）

[https://www.data.jma.go.jp/stats/data/mdrr/wind\\_rct/alltable/mxwsp0828.html#a63](https://www.data.jma.go.jp/stats/data/mdrr/wind_rct/alltable/mxwsp0828.html#a63)

兵庫県の潮位観測情報（潮位の観測実況および今後の予測）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#9/34.952/134.956/&contents=tidelevel>

## ○ 14か国語による防災気象情報の提供

<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>

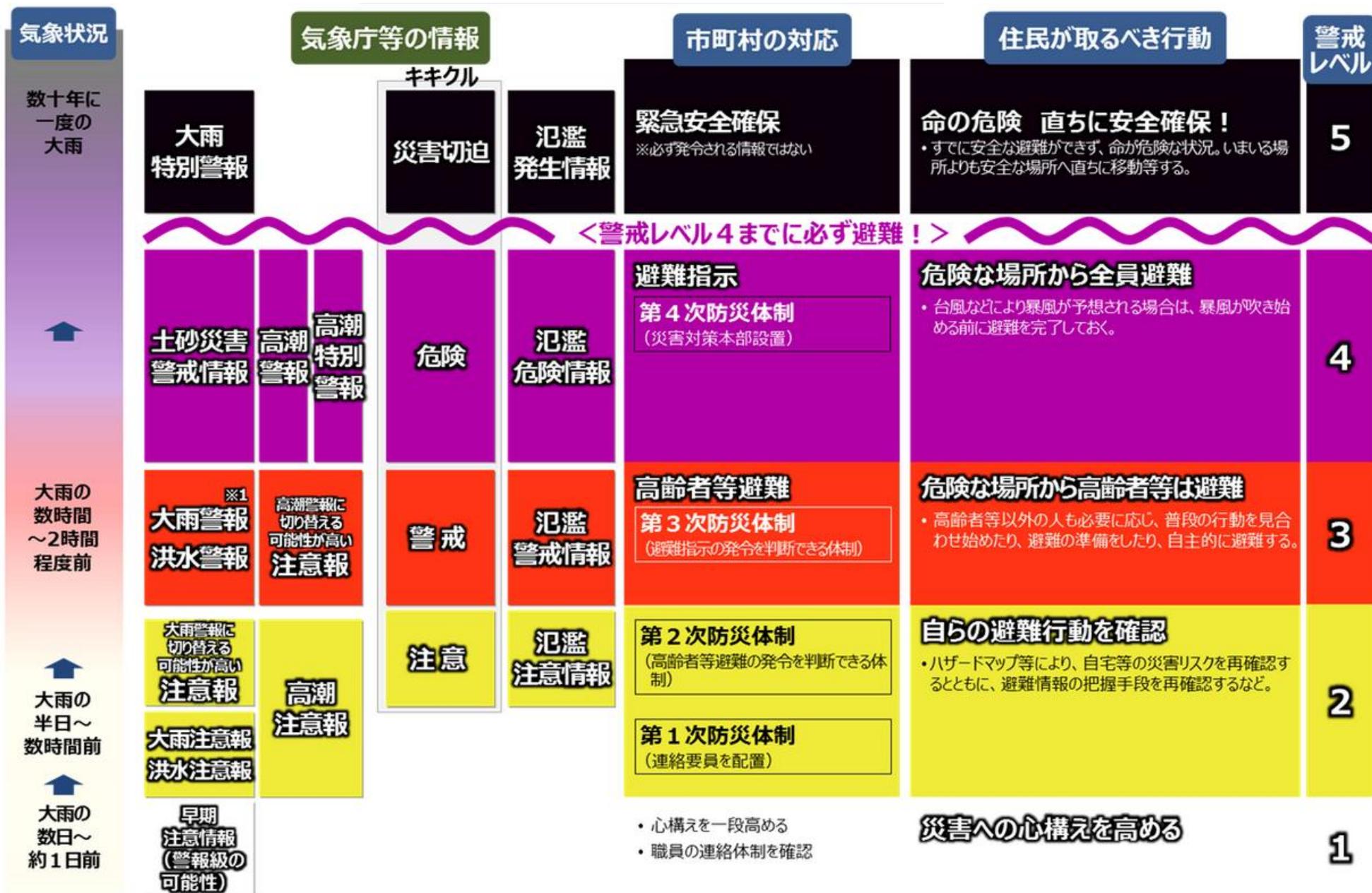
## ● 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））

[https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3\\_hinanjouhou\\_guideline/pdf/point.pdf](https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf)

# ＜参考資料＞

神戸地方気象台

# 5段階の警戒レベルと防災気象情報



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

# 暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市の警報・注意報（今後の推移）

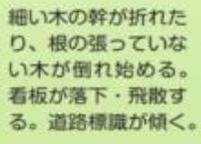
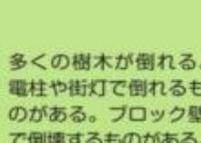
		XXXX年XX月XX日XX時XX分発表										
〇〇市		〇〇日					〇〇日					備考・関連する現象
		0-3	3-6	6-9	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
暴風	陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	10		
	海上	10	12	20	25	35	30	15	10	10		以後も注意報級

▲ 暴風警報  
 ▲ 陸上では昼過ぎから風速20メートル  
 ■ 暴風警報の期間  
 ■ 強風注意報の期間

## （風が強まる前の家の対策）



※ 内閣府政府広報オンラインより。

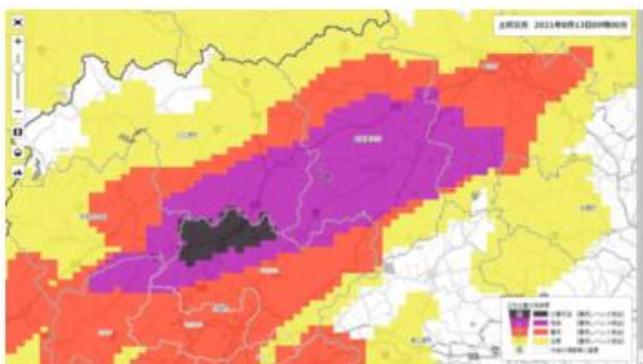
平均風速 (m/s) おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	おおよその瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。 	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動・転倒する。ビニールハウスのフィルム（被覆材）が広範囲に破れる。 	30
25~30 ~約110km/h			固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。 	40
30~35 ~約125km/h				50
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。 	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。 	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。 	60
40~ 約140km/h~			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。 	

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。  
 ※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。  
 ※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze\_index.html)

# 「キキクル（危険度分布）」を活用して早めの避難を

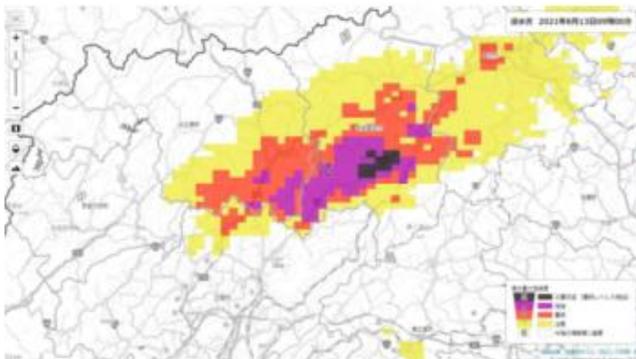
## 土砂キキクル

大雨警報（土砂災害）の危険度分布



## 浸水キキクル

大雨警報（浸水害）の危険度分布



## 洪水キキクル

洪水警報の危険度分布



土砂災害



浸水害



洪水災害



**「紫」が出現した段階で  
速やかに安全な場所に避難する判断を！**

「キキクル」の「災害切迫（黒）」は、大雨による災害が**すでに発生**している可能性が高い状況であり、災害が発生する前にいつも出現するとは限りません。このため、「黒」を待つことなく、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

# キキクルの危険度の高まりを見逃さないように

国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

> ENGLISH > Other Languages 文字サイズ変更 標準 大

> 気象庁防災情報 Twitter 気象庁 Twitter 気象庁 知識・解説 YouTube 気象庁 YouTube Google 提供 検索

ホーム 防災情報 各種データ・資料 地域の情報 知識・解説 各種申請・ご案内

コンテンツの開覧方法について (よくお寄せいただく質問) **ここをクリック**

防災情報 天気 **キキクル (危険度分布)** 大雨・台風 地震・火山 被災地域等への支援情報

**キキクル** この雨大丈夫? そんな時 大雨・洪水警報の危険度分布

火山登山者向けの情報提供ページ

津波から身を守るために **津波フラッグ** 海岸付近でこの津波フラッグを見たらすぐに避難



# 風の強さと吹き方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成19年4月一部改正)、(平成25年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩みにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて 立ってられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始め る。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	40
	25以上 30未満	～110km					固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	～140km					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km～						

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

# 雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる				

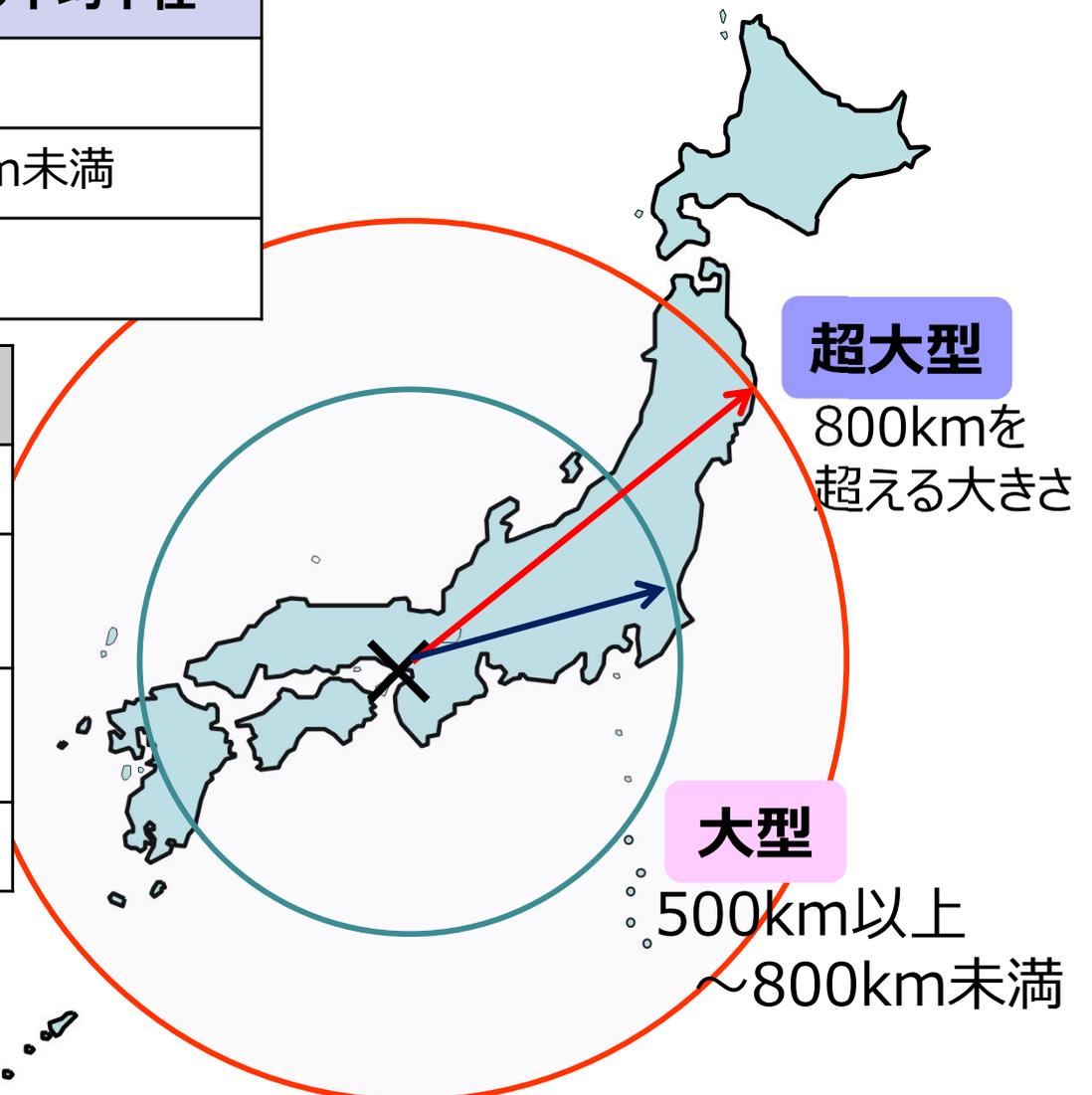
(注1) 大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

# 台風の大きさと強さの定義

大きさ	風速15m/s以上の平均半径
(表現しない)	500km未満
大型 (大きい)	500km以上800km未満
超大型 (非常に大きい)	800km以上

強さ	最大風速 (10分間平均)
(表現しない)	33m/s(64ノット)未満
強い	33m/s(64ノット)以上 44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上 54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上



台風の勢力 = 中心の  
気圧ではない

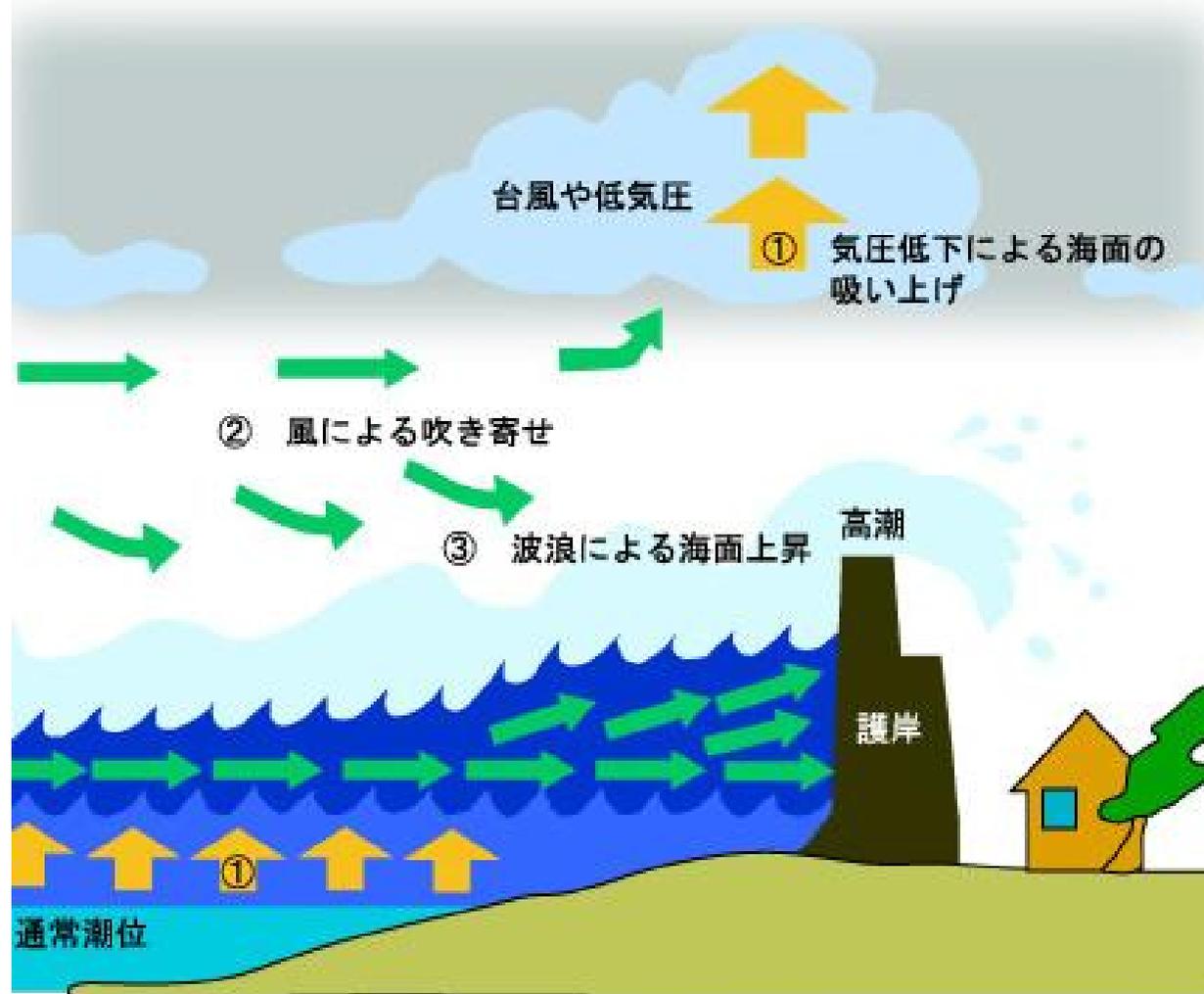
# 高潮の要因

台風により、

- ①気圧低下による海面の上昇（気圧が1hPa下がると、潮位は約1cm上昇）
- ②風による吹き寄せ
- ③波浪による海面の上昇

の相乗効果により高潮の可能性が高くなります。

特に台風の進行方向の右側では風も強くなり、海面の上昇が起きやすく、またV字型の湾では奥に行くほど海面上昇が助長されます。



# 防災気象情報に用いる 時間細分の用語

天気予報では、1日を3時間ごとに区切って、表現しています。

時間帯	一日の時間細分		
00:00～03:00	未明	午前中	
03:00～06:00	明け方		
06:00～09:00	朝		
09:00～12:00	昼前	午後	日中
12:00～15:00	昼過ぎ		
15:00～18:00	夕方		
18:00～21:00	夜のはじめ頃	夜	
21:00～24:00	夜遅く		

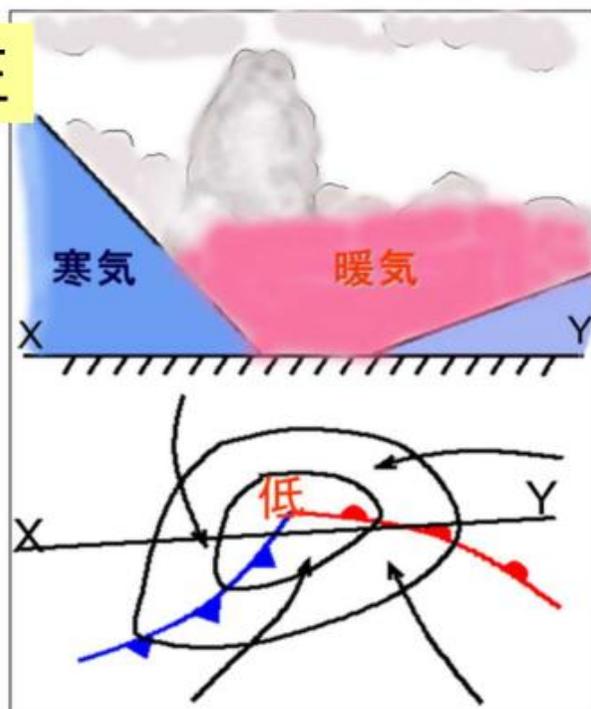
## 台風と熱帯低気圧との違い

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋（赤道より北で東経180度より西の領域）または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速（10分間平均）がおよそ17m/s（34ノット、風力8）以上のものを「台風」と呼びます。

## 温帯低気圧と熱帯低気圧の違い

### 温帯低気圧

寒気・暖気の温度差をエネルギーに発生・発達



X-Yの  
線で  
切った  
断面図

上から  
見た図

### 熱帯低気圧

熱帯の大量の暖かく湿った空気をエネルギーに発生・発達

